

---

# 中国情報（砂糖）

---

2008年12月24日号

©2008年11月における中国の砂糖類市場観測情勢

【中国農業部】

中国農業部は先ごろ、2008年11月における中国の砂糖類市場情勢の分析結果について発表した。その概要は以下のとおりである。

※ この記事は、中国農業部の了解を得て、独立行政法人農畜産業振興機構が翻訳提供しているものです。内容の一部または全部を転載等する場合は、資料元が当機構によるものである旨を必ず明らかにして下さい。

## 1 2008/09砂糖年度の生産が続々と展開

10月末までに、北方の甜菜糖工場35箇所が2008/09砂糖年度の生産を開始した。現在、サトウキビ主産地である広西チワン族自治区の工場が圧搾の繁忙期に入り、11月27日までに、同自治区内44工場が圧搾を開始した。同砂糖年度における全国の糖料作物播種面積は引き続き拡大し、砂糖生産量は史上最高を更新する見込みである。

## 2 砂糖類の出入量は大幅に減少

2008年1～10月における中国の砂糖類輸入量は、前年同期比32.8%減の71.3万トン、同じく輸出量は同54.6%減の4.6万トンとなった。2008年の輸入関税割当量194.5万トンに占める同年1～10月の砂糖類輸入量の比率は36.6%であった。

## 3 今次砂糖年度における世界の砂糖類生産量は需要量を下回るものの、供給は充足

国際砂糖機関（ISO）の2008年11月の予測によると、2008/09砂糖年度における世界の砂糖生産量は、前砂糖年度比3.8%減の1.62億トン（原料糖ベース）と見込まれている。同じく消費量は同2.4%増の1.66億トン（原料糖ベース）で、今次砂糖年度の新産量は需要量を360万トン下回っているものの、当年度の期首在庫量が4,487万トンと見積もられていることから、世界の砂糖類市場に需給ギャップが生じることはないと思われる。

4 国内砂糖類価格は小幅に上昇するも前砂糖年度に比べ低水準、国際価格は小幅上昇

2008年11月の国内砂糖類価格は、10月にわずかに上昇してから小幅に高騰して1トン当たり2,981元、前月比同190元高（6.8%高）、前年同月に比べ同595元安（16.6%安）となり、最近4砂糖年度の同期では最低水準となった。

感謝祭（Thanksgiving Day）などの記念日が近づくにつれ、11月の国際砂糖類価格は小幅ながら上昇して1ポンド当たり11.82セント、前月比0.16セント高（1.4%高）・前年同月比1.91セント（19.3%高）となり、2002/03砂糖年度以来の同期で最高水準となった。

同月のタイ産砂糖の珠江三角洲（広州、香港、マカオ、深圳などを含む珠江河口の中国の一大経済圏）における輸入通関渡し価格（Duty Paid：C I F＋関税等）は1トン当たり3,345元、前月72元高となり、甘蔗糖主産地における卸売価格に比べ346元高かったものの、内外価格差は前月に比べ152元縮小した。